

## 1. 授業の概要(ねらい)

- ・前期に引き続き後期もオンラインで行う。
- ・前期は「質問紙調査の設計と分析」をテーマに、操作的定義、選択肢の作り方、仮説と変数、2つの変数の関連を調べる方法などを学んだ。それをふまえて、後期のテーマを「記述と説明——相関関係と因果関係」とする。
- ・新聞記事の紙面の内容を正しく読み取り、正しくツツコミを入れる。相関と因果の違いを理解する。因果関係が成り立つための条件を考え、実験的方法を理解する。最終的には、ある仮説を検証するための実験を提案できるところまでいく。

## 2. 授業の到達目標

- ・データが示す事実を記述することと、なぜそうなるのかを説明することを区別できる。
- ・相関関係と因果関係の違いを理解できる。疑似相関を見抜き、因果関係の複数の可能性を指摘できる。
- ・ある変数の効果があるのかどうか確かめるために、自分で仮説を立てて、それを検証するための実験を提案できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

- ・期末レポート課題(100%)
- ・ただしオンライン授業の参加状況(出席報告と例題解答など)も考慮する。

## 4. 教科書・参考文献

### 教科書

(必要な資料はLMSで配布する)

## 5. 準備学修の内容

- ・LMSにあげる授業資料を事前に読んでおくこと。
- ・意欲的な受講者向けに、応用的な課題(提出は任意)を出すことがある。

## 6. その他履修上の注意事項

- ・期末レポートなどの提出物の期限には注意すること。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
- 【第2回】 前期の復習①——変数と仮説
- 【第3回】 前期の復習②——2つの変数の関連を調べる方法
- 【第4回】 新聞記事を正しく読む①——データの読み方、事実と意見
- 【第5回】 新聞記事を正しく読む②——応用問題
- 【第6回】 相関関係と因果関係①——相関と因果の区別
- 【第7回】 相関関係と因果関係②——疑似相関、因果の複数の可能性
- 【第8回】 相関関係と因果関係③——応用問題
- 【第9回】 実験的方法①——因果関係が成り立つための条件
- 【第10回】 実験的方法②——実験群と統制群、無作為配置
- 【第11回】 実験的方法③——3つのグループ、応用問題
- 【第12回】 期末レポート課題について
- 【第13回】 期末レポートのヒント、補足①
- 【第14回】 期末レポートのヒント、補足②(この日を提出期限とする)
- 【第15回】 期末レポートの講評、まとめ